

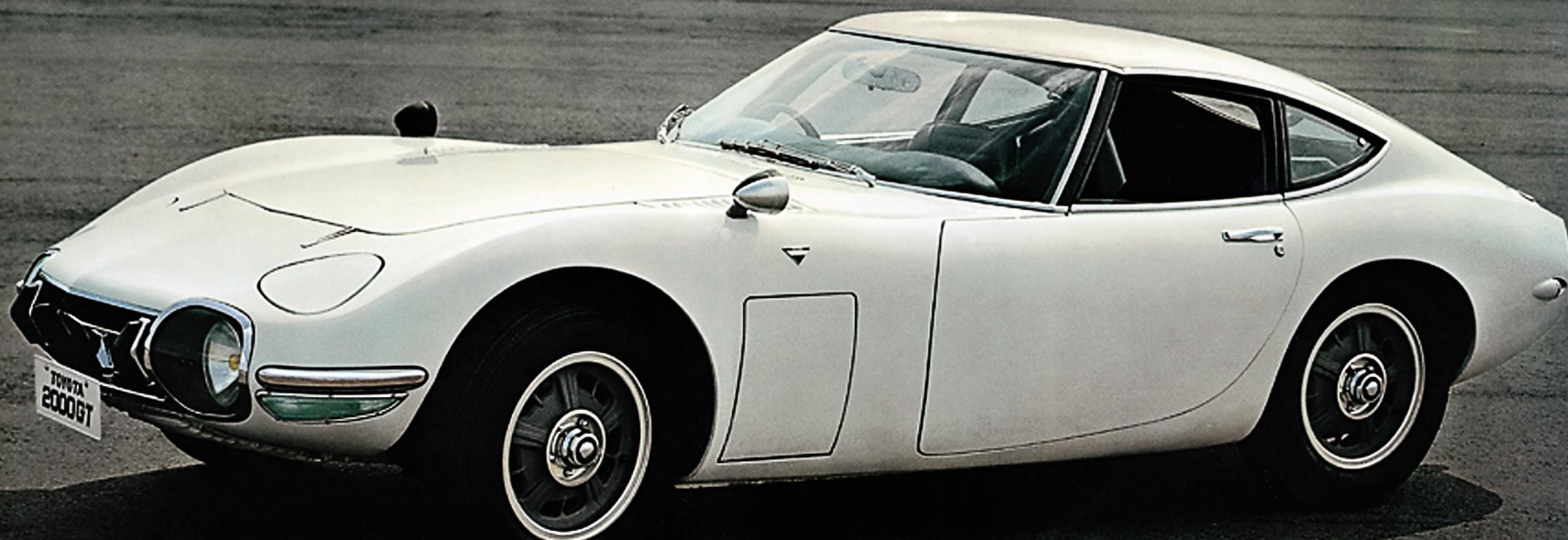
5段ミッション 新発売 3速トヨグライド付(プロアシフト)



TOYOTA **2000GT**





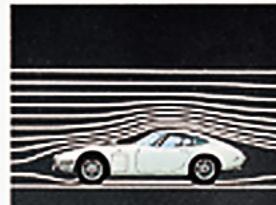


TOYOTA 2000GT 独創的で洗練されたスタイル。洗練なボディライン。前方低位置は走行において有利。ルーフはすべての高さを採用。ドアガラスやドア板と内板のあわせたも。全車種に付いている。ドアガラスはドア板と組合せてドアに付く。

TOYOTA 2000GT

トヨタ2000GTは、すみずみまで最高スポーツカーの精神に貫かれています。ドライビング・ポジションひとつを見ても、ペダルの位置を考慮して、シートの前後移動、背もたれの角度調整、ステアリングの位置の調整と、3つのアジャスターが可能。操作にあわせて、いかにもストレッチャー・アルームの運動感ができます。さらに運転席の計器盤は運転席からもカラスは完全に無視範囲。しかもすべての操作がドライバーの直感に合わせて、初めてにとりつけてあるという入出庫。ターンなどにそなえて、ストップ・ワ

イックまで完備しています。ドームランプのほか、折り畳み式のカーテンランプも点灯します。ヒーターは高機能の静かなエアーミックス式。3段の電動ファンももっているので、ベンチレーションとしても使い、夏の運転も快適です。



ヘッドランプは点滅式。ブロウサイド・ミラーは電動式。サイドルームとして活きかせらないスケルトン構造。本革ディスクブレーキや、ラップルギヤ・システィックアシストなど。すべてドライバー・スピーダ運転に対する配慮が行きとどいています。



色彩も豪華なサンデーラルバー・マクラッカ・ペロサ・ホワイト、ソーラーレッドと3色展っています。



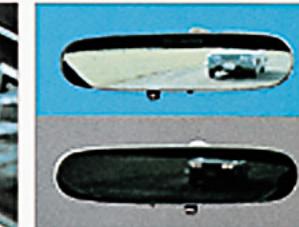
ステアリング・ホイールは運転姿勢に合わせて前後に調節できる柔軟性と運転時の快適感。



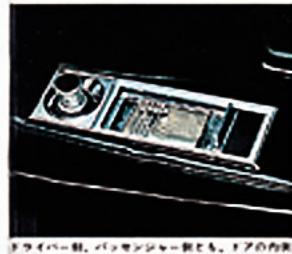
柔軟なバケットシート。前面にベルトも搭載されており、マクライニング装置つき。



運転台のフルアシスト・レバー・ノブは、美しい木製。取手を握ったような形。取りやすい。



バックミラーはつまみひとつで座面の傾斜ができます。背面鏡は後続車のライトの眩しさを消す。



ドライバーズ・パネル・センター・コントロール。ドアの内側にライターワークの按钮が隠されています。



コンソールのうしろに、カーシート・ボックスが設けられています。ここにも木目が美しい。



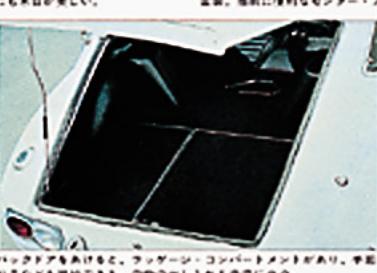
ホイールは鍛造。バランスのよいフルショーム型。表面に優れたセンサー・マッキオ式。



柔らかくマットされたダブル・スキンゾスト・バイブ。いかにも快適な印象を与える。



リヤ・ウインドウは両端入りガラスを使用。底のラッズのところは開けたり閉めたりする。大きな窓のため後方視界のよさも抜群。

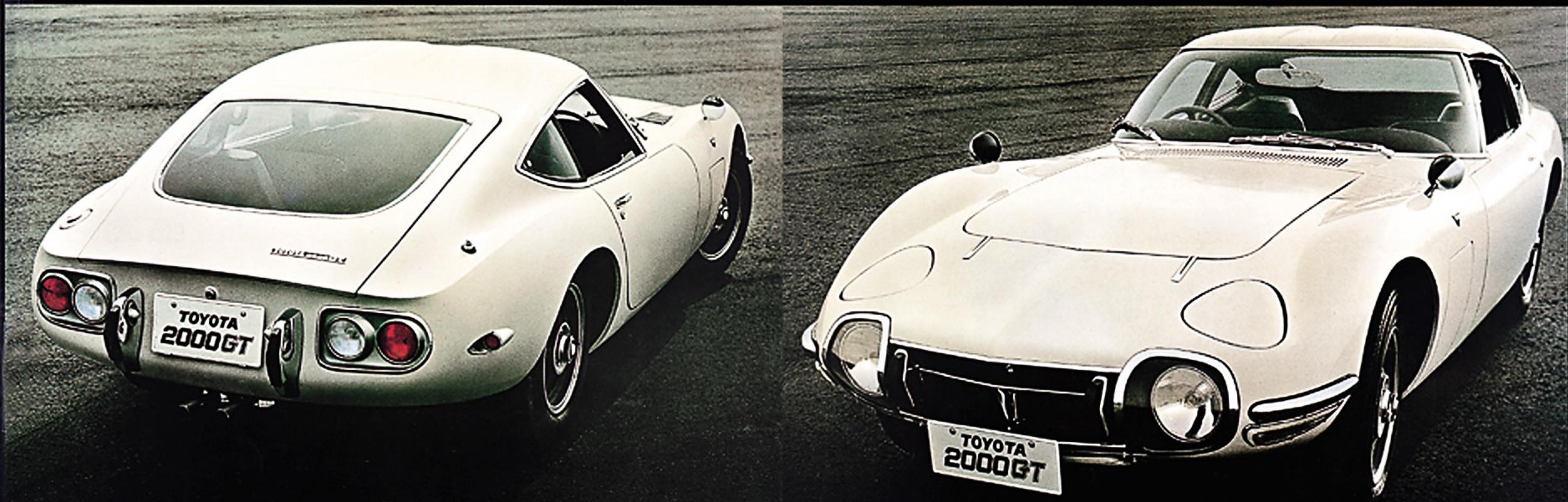


バックドアを開けると、ラゲージ・コンパートメントがあり。手荷物などを格納できる。荷物の出し入れも非常にラク。



リヤ・ドア・カードの下に、スペアタイヤ、工具、燃料タンクなどがコンパートに収められている。どこにも無駄な空間はない。





TOYOTA 2000GT フィアレスなルーフライン、クーペ・トランクのアーチストップ。
ISOVYPA・リバースヘッドライト、ドライフレクターがアコントロール。

TOYOTA 2000GT 独創的、モダニズムを表現した車。走行性能の良さと、グッドセイフティーズ。
ルーフ・インテークが運転席にリラックス空間をもたらす。車用オーディオを搭載。

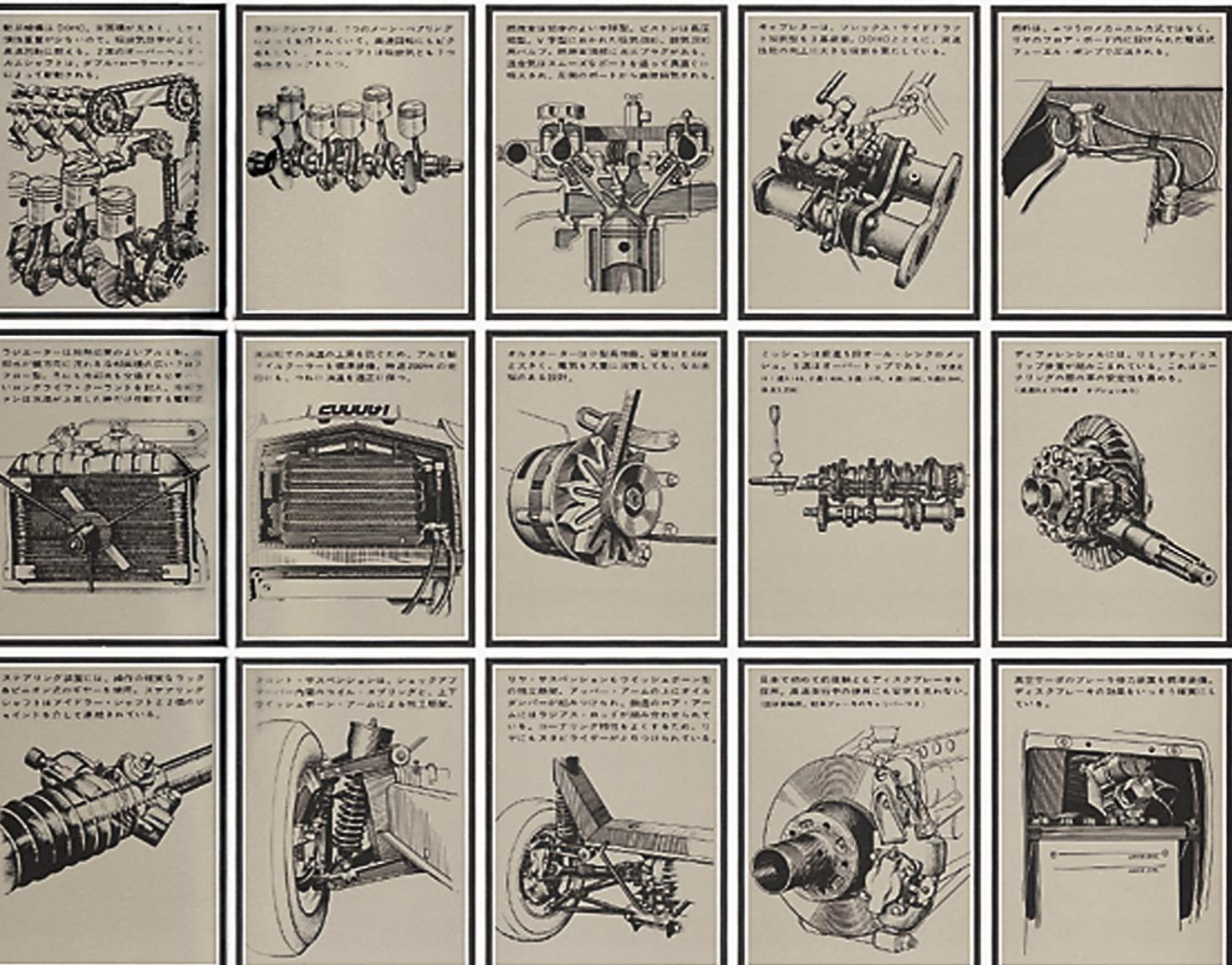
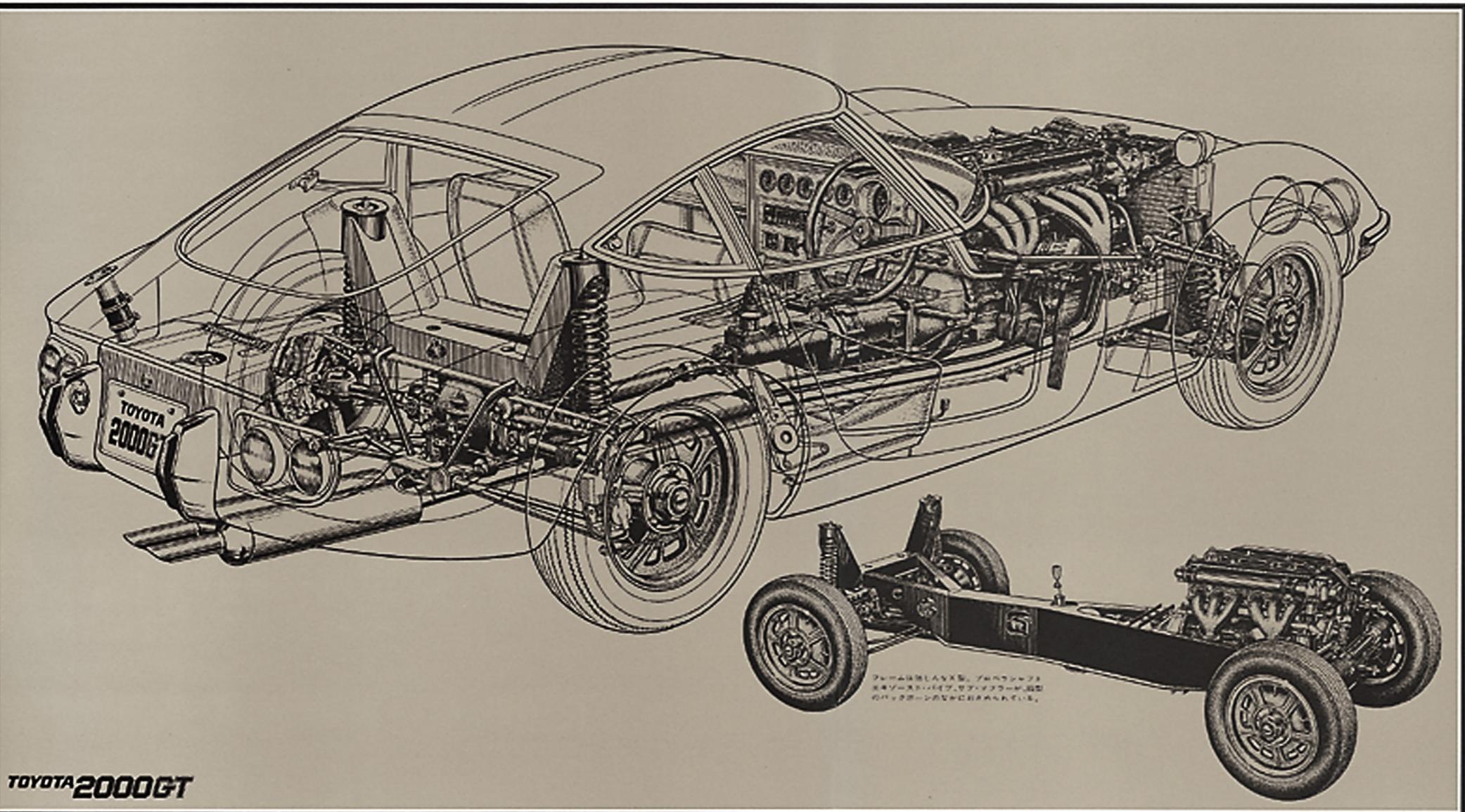


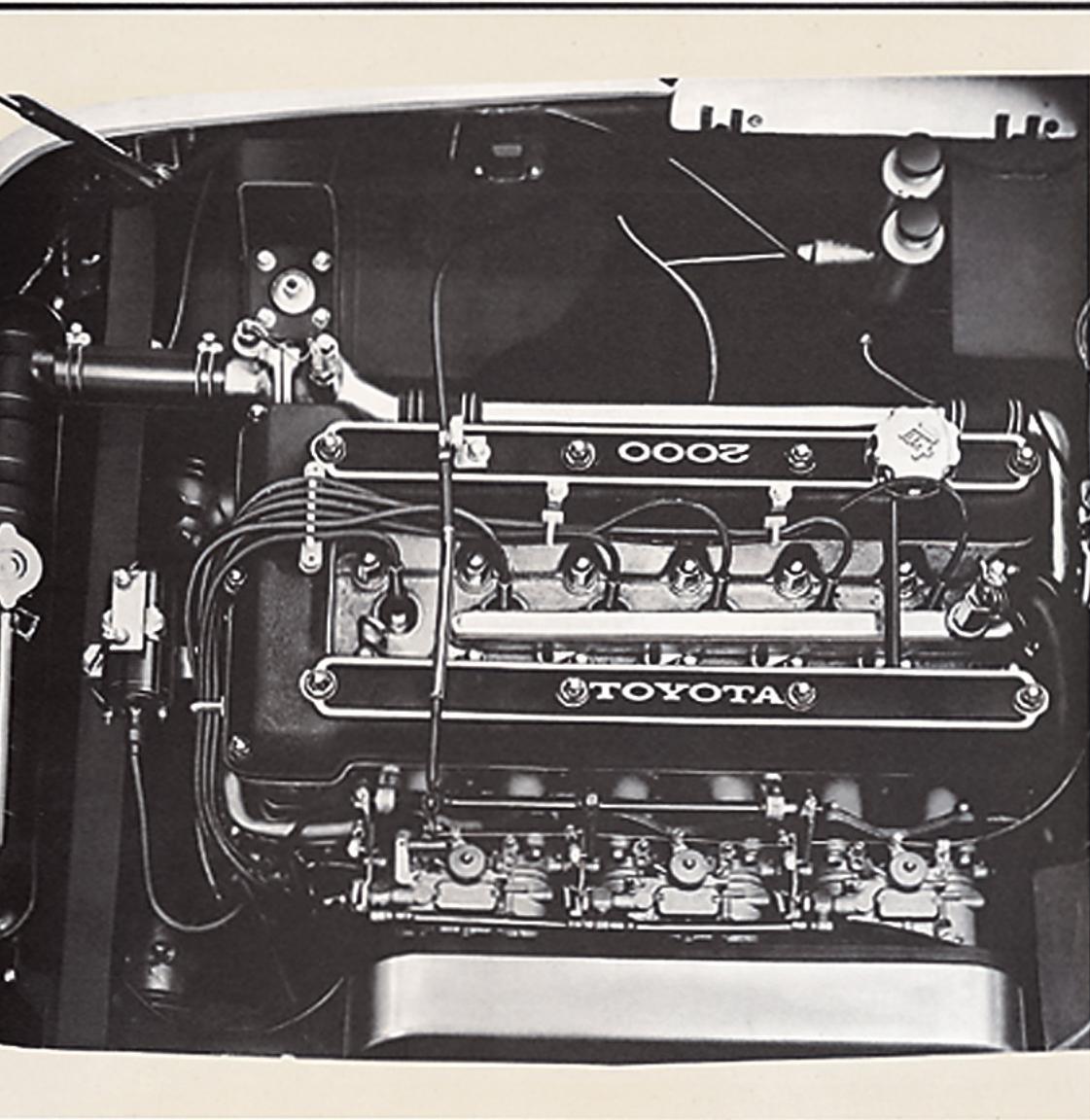
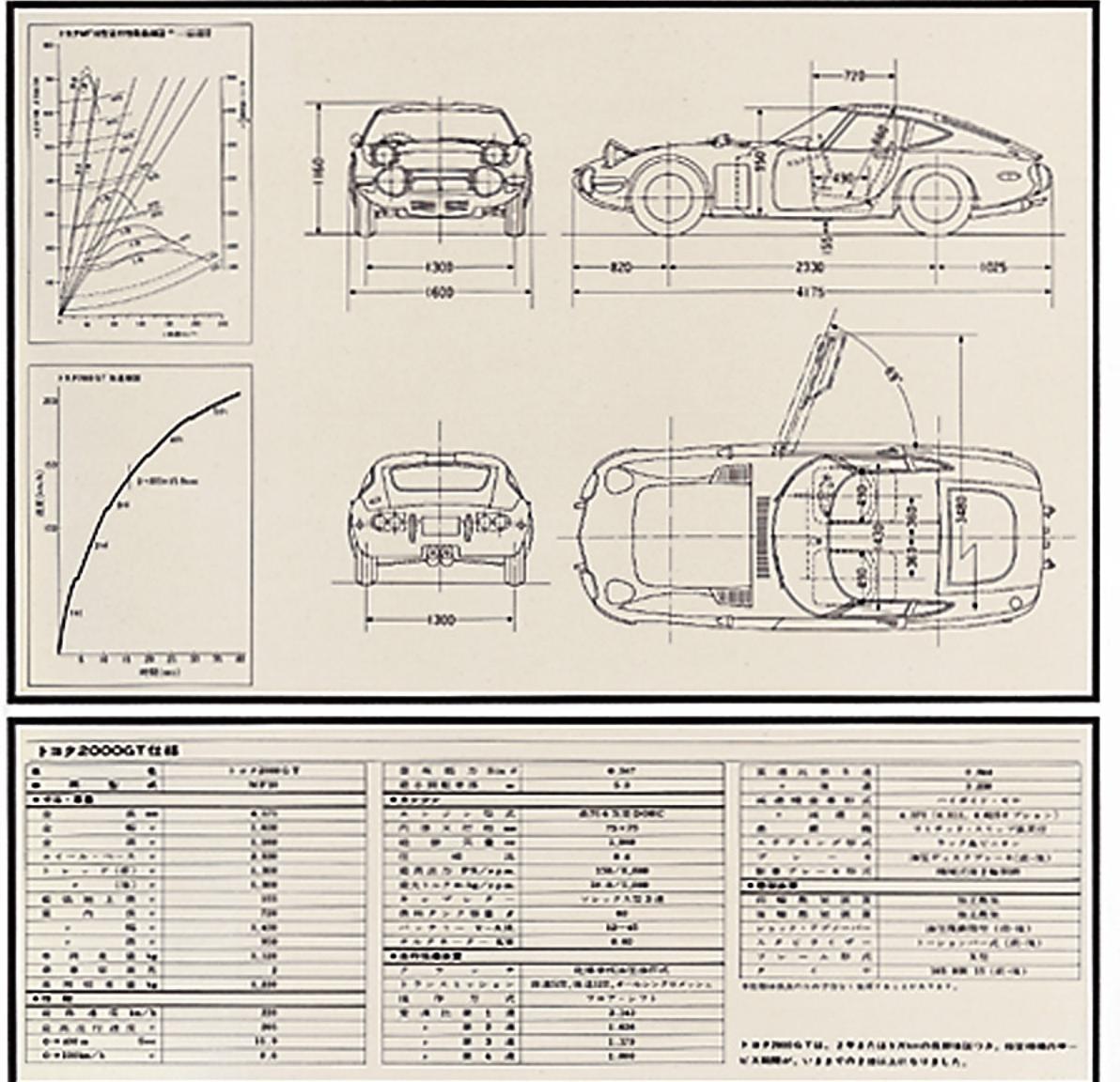
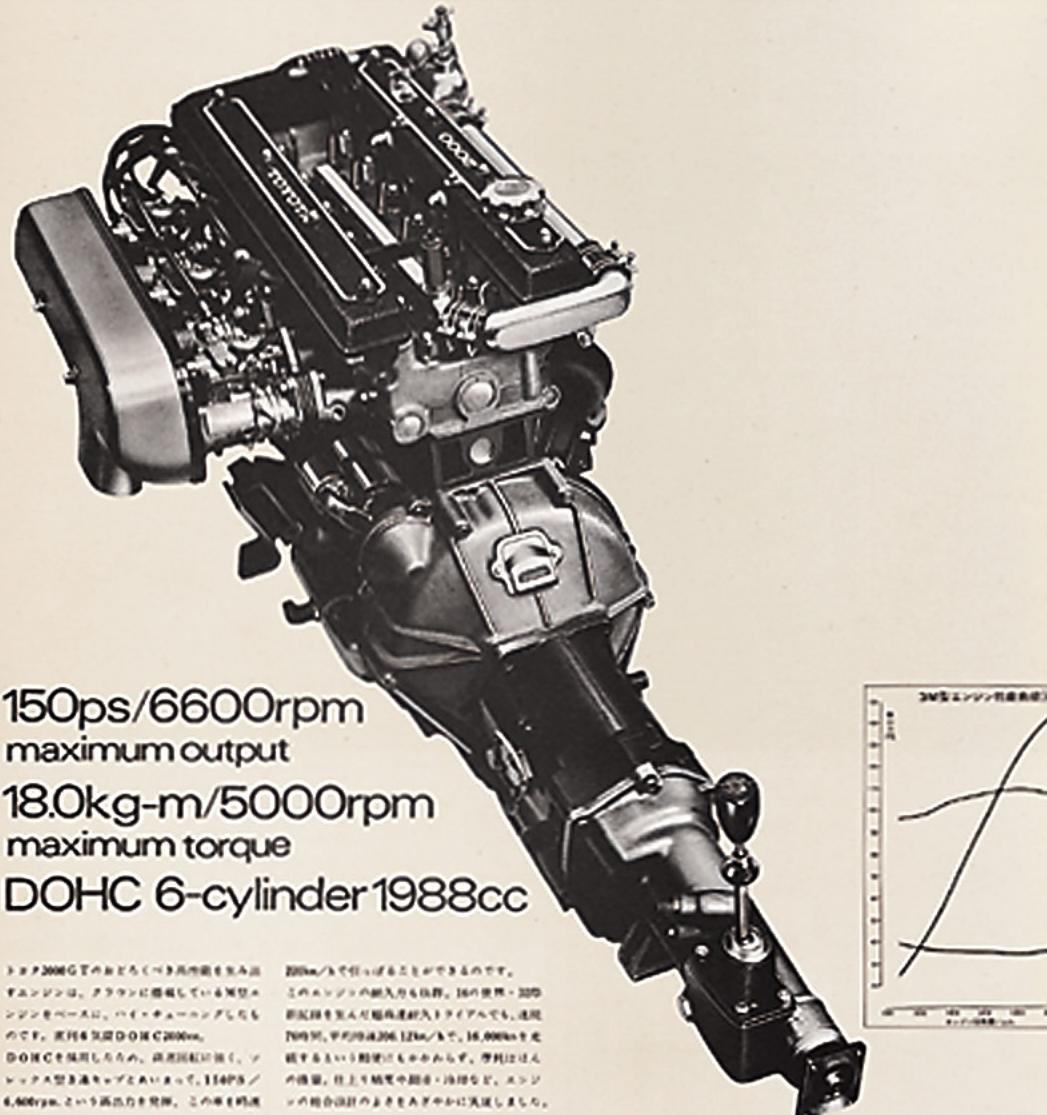
3つの世界新記録と13の国際新記録をつくった
レコード・カー トヨタ2000GT

トヨタ2000GTの後継車種トヨアリストが、1972年1月から販売。価格はアリストよりも高めでした。折りたたみ式した荷室200Lの内、荷物の置き場所をはじめ、トヨアリスト

方時間、平均時速204.1kmの個人記録によって、16,000kmを走りつづけたのです。その結果、多くの世界新記録や13回の世界選手権出場歴、世界のトップレベルを誇るマラソン選手としてトヨタ2004からの高橋尚記をこれまでに賞賛しました。この記録は、日本を代表するアスリート会議記録です。







TOYOTA 2000GT

日本で初めての本格的高級グランドツーリング

いままでわが国には、所有することの珍りと感覚、運転することの苦しみと満足とをもえてくれるスポーツカーはありませんでした。トヨタ2000GTは、日本のトップメーカー、トヨタがお届けする最高級グランドツーリング。世界でも、2000ccクラスで、これはど高級車で、これほど豪華なスポーツカーは他にありません。

3つの世界新記録と13の国際新記録を樹立

トヨタ2000GTは1966年3月、JAFとFIAのルールによる〈世界最高走行ライアル〉で、平均時速206.14km/h走行走行7時間、16,000kmを走成。3つの世界新、13の国際新記録を樹立しました。よく世界記録は燃費量に制限はなく、特別版の〈走る機械〉やどんな人間の走行も更新できなかった記録を、この車が破ったのです。

世界のトップレベルを行く高性能

トヨタ2000GTは最高速度220km/h、最高走行速度205km/h。0加速→400m15.9秒、0加速→100km/h8.6秒、最高出力150ps/5,600rpm、最大トルク18kg-m/5,000rpmという驚くべき高性能をもっています。それでながらこの車は、洗練した外側地を走ってもいっこうに平気、いわば〈速度を実現性〉が自慢です。

これがトヨタの先進技術の結晶

トヨタ2000GTには、トヨタの先進技術のすべてがあります。D型OHVの外板エンジン、全幅独立懸架、わが国初の4輪ディスクブレーキ、オーバードライブつき前進5段トランスミッションなど、どれひとつを見ても世界水準を行くものばかり。この車こそ、トヨタの先進技術の結晶といえます。

部品ひとつひとつまですべて純国産

トヨタ2000GTはスタイリング、デザインはもとより、部品のひとつひとつに至るまで、すべてが純国産です。トヨタはつねに独自の力で技術を高め、新しい道をひらくことをきました。いたずらに外國の力にたよらないといふトヨタの信条が、ここに生きています。この車は世界の両方に日本の自動車技術を示すものです。

しならかな曲面に包まれた美しいスタイル

空気抵抗を現場にへらしたボディーは、いかにも車屋で、しかも力量派に描かれていました。このスタイルはデザインのためのデザインではありません。設計にあたって、まずエンジン、シャシー、室内装飾などの位置と大きさを決め、それを理想的な形のボディーで包んだもの。映画007や海外の自動車ショーでも、圧倒的に好評です。

最高級GTにふさわしい豪華な車内装飾のムード

トヨタ2000GTの室内は、最高級スポーツカーと呼ぶにふさわしく、豪華そのものです。木目をふんだんに使った計器盤ばかり。ドライバーの視線に合わせた計器類、インストルメント・パネルをおおす厚いパッド。リクライニングつきのパケット・シート。手すり今まで健美で豪華な車検査の実験室がだよっているのです。

これこそクラフトマンシップの結晶

トヨタ2000GTは量産される車ではありません。1台ずつつくられ、最高の調子で仕上げられたエンジン、燃費に1点1点吟味された各部の機能部品。すみずみまで手がはらわれているボディーや室内の仕上げ。完成後にも1台1台行なわれる徹底的な点検テスト。これこそ真心のクラフトマンシップの結晶です。



TOYOTA 2000GT